

若者に夢と希望を与える次世代リーダーを表彰

## 第7回「若者力大賞」受賞者決定のお知らせ

公益財団法人日本ユースリーダー協会（本部：東京都港区・会長：三村 明夫・1969年設立）

（<http://www.youthleader.or.jp/>）は、第7回「若者力大賞」の受賞者を決定いたしました。

表彰式は、下記のとおり、2016年2月16日（火）に開催いたします。

当日のご取材につきまして、何とぞご出席を賜りたくご案内申し上げます。

なお、表彰式には一般の方々の参加を募っております。本表彰式の社会性を鑑み、読者や視聴者の方々へのご案内につきまして、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「若者力大賞」は、若者ならではのパワーと使命と行動力をもって、社会のための貢献活動に取り組んでいる20代・30代の次世代リーダー、及び、その指導者（個人・団体）を表彰することにより、次世代育成に対する社会的な関心を高め、同時に次に続く若い世代に、夢と希望とを与えることを目的として、2009年度からスタートいたしました。

今回もすばらしい活動をされている6名（組）の受賞者を表彰いたします。

### 第7回「若者力大賞」表彰式・交流会

日 時：2016年2月16日（火）17：00～19：30（16：30受付開始／17：00開演）

会 場：六本木ヒルズハリウッドプラザ5階「ハリウッドホール」（東京都港区六本木6-4-1）

式 次 第：1. 主催者挨拶                      2. 審査委員紹介                      3. 審査結果発表

                    4. 表彰式                                      5. 記念撮影                                      6. 交流会

参 加 費：一般5,000円 学生2,000円（交流会含む） ※報道関係者の方はご招待

定 員：先着300名

申込方法：ホームページ（<http://www.youthleader.or.jp/>）

またはFAX、メールにてお申込いただけます。

主 催：公益財団法人 日本ユースリーダー協会

協 力：学校法人メイ・ウシヤマ学園 ハリウッド大学院大学

### 公益財団法人日本ユースリーダー協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 NOF溜池ビル5階

TEL：03-6441-0581（代）                      FAX：03-6441-0582

MAIL：[day@youthleader.or.jp](mailto:day@youthleader.or.jp)                      （担当：加藤・丸山）

## 第7回 若者力大賞 受賞者一覧

(敬称略)

### ◇若者力大賞 (1名)

倉木 麻衣 (くらき まい) / 歌手・33歳



1982年10月28日生まれ、歌手。  
音楽活動と並行して、国内外を問わず社会活動にも積極的に参加。2006年3月、ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイ氏との対談をきっかけに、2006年8月元環境大臣小池百合子氏との共作で風呂敷“Mai Furoshiki”を制作。その収益の一部は、未来の子供達に美しい環境を残す環境保全活動の為、地球環境基金に寄付された。また、環境省チーム・マイナス6%メンバーとしても活動。2011年以降は東日本大震災の復興支援としてチャリティームービーや音源、LIVEの配信を行うばかりでなく、復興支援音楽イベントなどにも多数参加。2011年8月には宮城県女川町で炊き出しとミニライブを、2013年6月には宮城県岩沼市で地元の苗を使って自然の防潮堤を作り、津波から街を守る“森の長城プロジェクト”植樹祭にも参加、2014年10月には女川中学校で音楽鑑賞会を開催。また、2014年3月に国際協力広報プラットフォーム「なんとかしなきゃ！プロジェクト」の一環としてカンボジアを訪問、寺子屋にて音楽の授業を行い、音楽の楽しさを地元の子供たちに伝えた。更にJICAが運営、支援する各施設を訪問、そこで働く日本人スタッフをレポートしたり、カンボジアの現状をメディアを通じて発信。またこの訪問をきっかけに、カンボジアの子供たちに教育の場を提供する寺子屋設立、運営の支援なども行っている。現在、来年完成予定の寺子屋建設に向けた具体的な支援活動を展開し、メディアを通じた発信も多数行っている。

### ◇ユースリーダー賞 (2名)

高桑 早生 (たかくわ さき) / エイベックス所属陸上選手・23歳



1992年5月26日生まれ、エイベックス所属陸上選手。  
小学6年生のときに左足に骨肉腫が見つかり、3度の手術を経て中学1年生で左足ひざ下を切断。同じ病気で足を切断していたパラアスリートの佐藤真海さんの著書をきっかけに障がい者陸上を知り、知人に見学に誘われ、初めて義足の人が走っているところを見て、とても感動する。  
高校入学と同時に陸上部に入部し、元々の身体能力を生かし、陸上を始めて1年弱で日本代表に選出された。慶応義塾大学に進学すると、20歳でロンドンパラリンピックに初出場。女子100m、200m(T44クラス)で7位入賞を果たした。2014年には上尾市陸上競技選手権夏季大会で、100m(T44クラス)13秒69の日本記録を出した。2015年度の日本パラ陸連強化指定選手に指名され、翌年開催されるリオパラリンピック出場の最有力候補となっている。  
大学在学中から母校での講演をきっかけに、競技だけではなく、地元埼玉県深谷市の小学校をはじめ、各地教育機関での講演など多数に参加し、子どもたちに、チャレンジや一生懸命頑張ることの大切さを伝えている。ハンディキャップに打ち負けず行動することで、子どもたちに感動を与え、同時に元気をもらっている。大学卒業後、エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社に社員として勤務しながら、練習に励みつつ、講演を続けている。

## ◇ユースリーダー賞

松中 権(まつなか ごん) / 認定NPO法人 グッド・エイジング・エールズ 代表・39歳



1976年4月21日生まれ、認定NPO法人 グッド・エイジング・エールズ 代表。同性婚制度や国連の取組みなど世界的なLGBT権利運動が進む一方、日本は未だ強い差別や偏見が残り、当事者がカミングアウトしづらい環境のため、その苦悩や生活上の困難は顕在化しにくい。松中氏は、幼少期からゲイとして悩み、苦しみ、乗り越えてきた経験と、電通での仕事で培った「誰かに何かを伝える」コミュニケーション能力と知見を生かし、目に見えないLGBTの存在をポジティブに伝え、誰もが自分らしく暮らせる社会を目指すNPOを2010年4月4日設立した。活動の三大特徴は、①当事者と非当事者が交流し、理解促進プロジェクトを共に進めるプラットフォーム、②シェアハウス・職場・カフェ・マラソン大会・地域複合施設など、具体的「場づくり」と実体験の可視化、③有職メンバーがプロボノ参加する仕組みによる身近なロールモデル育成。従来の活動とは全く違うアプローチで時代を牽引し、渋谷区の同性パートナーシップ条例成立にも大きく貢献した。

### ※LGBT

Lesbian レズビアン: 女性同性愛者、Gay ゲイ: 男性同性愛者、Bisexual バイセクシュアル: 両性愛者、Transgender トランスジェンダー: 生まれた時の性にとらわれない生き方を選ぶ人、(の頭文字をとった、)セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)を総称する言葉のひとつ。日本には、約7.6%(左利きやAB型の人とほぼ同割合)のLGBTが存在するとされる。

(2015年4月、電通ダイバーシティ・ラボ「LGBT調査2015」)

## ◇ユースリーダー支援賞(個人部門) (2名)

池本 修悟(いけもと しゅうご) / 一般社団法人 社会創発塾 代表・37歳



1978年8月31日生まれ、一般社団法人 社会創発塾 代表。

京都・洛南高校時代に阪神淡路大震災が起きて、何もできない自分に歯がゆさを感じ、地域情報化の支援やNPOの事業サポート、社会活動を行う人たちのネットワーク化など様々な社会事業に取り組んできた。2011年東日本大震災にて、1,000以上のNPO団体が参画した東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の立ち上げにもかかわり、いざという時の底力と継続的な連携の難しさを思い知った。そのような問題意識を持つ中2013年、ハーバード大学マーシャル・ガンズ(Marshall Ganz)博士の「コミュニティ・オーガナイズング」という社会運動の手法を学び、異なるテーマに取り組むバラバラの支援者同士が社会課題の共有だけでなく、お互いの価値観に根差した目的を設定することで、継続的な協働関係が構築できることを実現できた。

現在は、社会創発塾を主宰し、Social Innovationに挑戦する若い世代と、共に学び合う場をプロデュースしている。

人はだれでも問題を抱えている。でもそうした市民のひとりひとりが、小さくても確かな一歩を、自分で踏み出せる社会を作りたい。ソーシャルコーディネイターとして、やりたいことはまだまだたくさんある。



## ◇ユースリーダー支援賞（個人部門）

原田 謙介（はらだ けんすけ） / NPO法人 YouthCreate 代表・29歳



1986年5月10日生まれ、NPO法人 YouthCreate 代表。  
東京大学在学時の2008年4月に、20代の投票率向上を目指し、「学生団体 ivote」を結成。各党国会議員と学生との飲み会を行う「居酒屋 ivote」、メールを活用した「ivote メールプロジェクト」、全国18箇所で開催「20代の夏政り」等の企画を実施する。2012年4月にはインターネットを利用した選挙運動の解禁に向けて「One Voice Campaign」を実施。  
大学卒業後、若者の政治参画について今後も継続して活動を続けていくべきとの想いから、若者と政治を繋ぐNPO法人 YouthCreate を設立。“年中夢求”をモットーに、「若者×政治」というキーワードで学生時代からずっと前線に立ち続け、社会を変えるアクティビストとして活躍しながら、Voters Bar といった活動を全国でも行い、自団体だけのノウハウにせず各地域に根付く支援が全国的な広がりを見せている。「10年後、あの時に何もしなかったと後悔したくない」という思いを持ちながら、将来に向けて、組織的、継続的な広がりを作るため、活動を行う。

## ◇ユースリーダー支援賞（団体部門） （1組）

STUDY FOR TWO（スタディ フォー ツー） / 代表 石橋 孝太郎



2010年5月設立、代表 石橋 孝太郎氏（24歳）。  
石橋氏は大学1年生の春休みにラオスの小学校へボランティアに行き、小学生の進学率が非常に低いことを目の当たりにした。  
自身も裕福な家の出身ではなく、奨学金を得て大学に進学できたことから、2010年に「勉強したいと願うすべての子どもたちが勉強できる世界」を理念に掲げ、STUDY FOR TWO を立ち上げる。  
日本国内で大学の教科書価格が高い現状を変えるべく、大学生から使い終えた大学の教科書を回収し、大学生に向けて安価に再販売する。その収益を通じて、途上国の子どもたちの教育支援を行い、今では全国80以上の拠点で800名以上の学生が活動し、これまで1,000人以上の子どもたちに学習機会を提供してきた。学生自身の力で、教科書の販売活動を行い、半年に一度途上国へ寄付金を送りながら、安価な教科書を学生に提供する継続的な仕組みを築いている。

## 参考資料

### ■ 公益財団法人日本ユースリーダー協会について

国際的なユースリーダーの育成を目的に1969年に設立。次代を担う若きリーダーの育成・支援・啓発などの事業活動を通じて、若者が活躍できる社会を創ります。

#### ◇ 団体概要

名称 : 公益財団法人 日本ユースリーダー協会  
代表者 : 会長 三村 明夫 (新日鐵住金株式会社 相談役名誉会長)  
          理事長 井上 義郎 (川崎重工業株式会社 元取締役副社長)  
設立 : 1969年7月1日 (※公益財団法人: 2012年4月1日)  
所在地 : 〒107-0052 東京都港区赤坂1-1-14 NOF溜池ビル5階

### ■ 「若者力大賞」について

#### ◇ 各賞の説明

##### <若者力大賞>

下記3部門の中から、特に顕著な活動成果をあげている個人又は団体

##### <ユースリーダー賞>

若者ならではの自由な発想と強い使命感をもって、社会的活動に取り組んでいる次世代リーダー

##### <ユースリーダー支援賞(個人部門・団体部門)>

若者の持つ才能を見出し、育み、伸ばす事で次世代リーダーを育成している優れた指導者又は団体

#### 第1回～第6回の「若者力大賞」受賞者(敬称略)

第1回	MISIA (歌手)	田中 将大 (プロ野球選手)
第2回	山口 もえ (タレント)	栗城 史多 (アルピニスト)
第3回	村田 修一 (プロ野球選手)	
第4回	平原 綾香 (歌手)	
第5回	宇佐美 吉啓 (パフォーマー/EXILE USA)	
第6回	道端ジェシカ (モデル)	

#### ◇ 審査方法および選考基準

自薦他薦による応募の中から、外部有識者を中心とする審査委員会によって選考される。選考基準として、<ユースリーダー賞>では社会的な使命感の強さ、行動力、ユニーク性、将来性、若者への影響力などの項目。<ユースリーダー支援賞>では広く社会での活動、キャリア支援の実績、ユニーク性、波及性などの項目が設定され、客観的かつ厳格に審査される。<若者力大賞>は両賞の中から特に評価の高い活動、実績をあげているリーダーに授与される。

#### ◇ 審査委員(敬称略)

三村 明夫 新日鐵住金株式会社 相談役名誉会長/当協会・会長(審査委員長)  
西尾 進路 JXホールディングス株式会社 相談役/当協会・副会長  
山中 祥弘 学校法人メイ・ウシヤマ学園 理事長  
橋本久美子 橋本龍太郎元首相・令夫人  
蛭田 史郎 旭化成株式会社 常任相談役

# 第7回「若者力大賞」表彰式・交流会申込用紙

FAX 03-6441-0582

MAIL : day@youthleader.or.jp

■日時：2016年2月16日（火）17：00～19：30（16：30受付開始）

■会場：六本木ヒルズハリウッドプラザ5階「ハリウッドホール」（東京都港区六本木6-4-1）

誠にお手数ですが、必要事項をご記入の上、2月10日（水）までにご返信いただけますようお願い申し上げます。

**ご出席**

**ご欠席**

撮影：有 無

（ムービー／スチール）

貴社名

---

貴媒体名

---

お名前

ご出席予定人数

名様

---

お電話番号

E-mail

---

通信欄

---

---

### 第7回「若者力大賞」表彰式・交流会

#### ●会場案内図：ハリウッドホール

(東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ5階)



#### <最寄り駅・最寄りバス停>

##### ●地下鉄

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 東京メトロ日比谷線「六本木駅」 | 1 C出口直結  |
| 都営地下鉄大江戸線「六本木駅」 | 3番出口徒歩3分 |
| 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」 | 5番出口徒歩6分 |
| 東京メトロ南北線「麻布十番駅」 | 4番出口徒歩8分 |



##### ●バス

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 都バス 01系統（渋谷・新橋）      | 六本木バス停下車1分    |
| 港区ちいばす（田町駅前・赤坂見附駅循環） | 六本木ヒルズバス停下車0分 |